

## 次号予告

### 特集 都市の省エネルギーをめぐる(2)ー

- 省エネルギー対策実現のための都市計画の運用 .....河中 俊 (建設省)  
省エネルギー型都市構造とは? .....鈴木 勉 (筑波大学), 田頭直人 (電力中央研究所)  
都市におけるコージェネレーション有効利用の可能性 .....市川 徹 (東京ガス)  
コージェネレーション等による省エネルギー対策推進地区の抽出 .....渡邊一成 (計量計画研究所)

**編集後記** ●最近、知人に勧められた本に「複雑系」(新潮社)がある。ビジネスマンの間では静かなブームになっているようである。一読してみたが、いままでの科学の考え方を根底から覆す斬新な科学観が物語風に描かれている。「科」には分けるという意味があるそうだが従来の科学は分解し要素に還元する志向がある。このようにして得られた成果には経済学では市場の安定や需要・供給のバランスといった均衡経済の理論がある。しかし、ゲーム理論では古典でもある囚人のジレンマが著書で引き合いに出されているように、均衡点からは実務上のさまざまな洞察を得られるものの根源的な疑問に従来の科学は答えられていないという。それは国際情勢の中での国家のみならず、組織や生物が生きて行くためになぜ他とあえて協力するのかという疑問である。この答えのヒントは複雑系にあるという。複雑系とは従来の科学が対象としてきた秩序とカオスの中間(著書ではカオスの縁と呼ばれている)に位置しており、ちょうど固体と流体の中間の相転移にあた

る。複雑系において世の中のあらゆる現象を捉え直すことができるというのだ●本特集では、ゲーム理論の新しい局面が紹介されている。社会の慣習や企業の慣行がどのように作られていくのかといった社会や集団の進化プロセスの解明は、複雑系で何が行われているのかの解明に向けたゲーム理論からの挑戦でもある。同様に人間の行動モデルとしてサイモンが提唱した意思決定モデルにおいて価値前提の解明に向けた研究の重要性が最近高まってきているのも複雑系の解明に向けた挑戦といえよう●政治や経済、産業、組織が大きく流動化してきておりまさに世の中が複雑系(カオスの縁)にあるともいえる。われわれORの実践者は、とかく数学的解析が可能な問題だけを追求し自らを縛りがちである。カオスの縁でいかに適応行動を実践すべきかの指針を観念的な宗教の立場ではなく、ORの立場から提案していくことがわれわれに求められているのではないかと考える昨今である。(田中宏和)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長** 逆瀬川浩孝(早稲田大学) **副委員長** 山上伸(東京ガス株), 山下勝比拉(株東芝), 大山達雄(埼玉大学)  
**委員** 伊藤裕康(株富士通研究所), 上田徹(成蹊大学), 葛山康典(早稲田大学), 國澤直樹(東京電力株), 栗田治(慶応義塾大学), 佐賀井重雄(助電力中央研究所), 外嶋成留(住友金属工業株), 田口東(中央大学), 田中宏和(さくら総合研究所), 中里宗敬(青山学院大学), 西尾チヅル(筑波大学), 水野眞治(統計数理研究所), 矢島安敏(東京工業大学), 山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成8年12月号 第41巻 第12号 通巻432号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ